

## ⑥県民ショー

2024/12/15

白子隆志

テレビで「県民ショー」という番組がありますが、皆さんはご存じですか？僕はたまに観るくらいですが、確かに自分の出身県のことになるとやはり気になり観てしまいます。先日もソースかつ丼のことをやっていたね。食に関することが多いので紹介されればきっとその地元を訪れる客が増えるのでしょう。

県民の気質というか、風土・文化というものは、きっと幕藩体制の世から長い歴史によって造られたもので、そんなに簡単に変わるものではないと思います。テレビ、インターネットが普及した現代でも方言は残り、久々に飯田に戻って患者さんたちと話をする中で「～だに」「～だら」「～ずら」「まえでに」などを聞くと、なんとなくほっとします。

長野県が全国に誇るべき習慣は多くありますが、僕が一番感じたことを紹介します。それは、交通ルールです。特に、横断歩道での歩行者がいる時の停車率は長野県がNo1 だったと思います。僕自身は、長野県(飯田市)、岐阜県(岐阜市・高山市)、愛知県(名古屋市)、アメリカ・NY 州・バッファロー、その他世界中で生活してきましたが、横断歩道で歩行者がいる時にほぼ停車してくれるのは、長野県とバッファローの住宅街でした。名古屋市、岐阜市は停車することはまずなく、高山市でも半数以下でした。小学校に近い地域でも、停車することが少ないことに驚き、自分自身も止まってくれるものと思って渡ると怖い思いをしたこともありました。ここに住んでおられる方たちは当然気づかないことだと思いますが、私のように各地で暮らすと色々な習慣の県民性を知ることとなります。いずれにせよ、横断歩道で歩行者がいれば必ず停車する習慣 No1 は本当に素晴らしいことだと思います。

それ以外にも、幹線道路で合流のための左折・右折を待っている車に譲ること、車線変更でも相手に思いやりをもって譲ることなど、長野県では他県に比べて「普通」にやっていることだと思います。これらの習慣は、長年の長野県の道德教育の賜物です。

ぜひ皆さんも、歩行者・運転者への思いやりをもって「安全運転」に心がけてください。

今回は、最近描いた飯田の絵を載せます。  
どこの風景かわかりますか？

